

12/19 朝日

当初予算案 110兆円超え

政府調整 予備費は削減へ

政府は2024年度当初予算案で、一般会計の歳出総額を2年連続で1兆円超える方向で調整に入った。腰らんなど予備費を減らすなどし、前年度の約1兆円を「来年下回る見通し」。口

ナの5類移行を受けて、「歳出構造を平時に戻す」と口をあわしたが、巨額の歳出が纏きやつた。

▼7面=「何でもあり」

歳出額が下回りやうなのは、国会での議決なしに使える予備費などを減

らすためだ。前年度は通常の予備費に加えて、口ナ対応など計5・5兆円を計上した。

一方で、国の借金にあたる国債の償還や利払いにかかる費用は、37兆円を計上した。

前年度の25・2兆円を上

回り、過去最高となる見通し。金融緩和を続ける日本銀行が政策修正を迫られ、長期金利が10年ぶりに水準まで上昇。利払

りの水準まで上昇。利払

田金になる見込み。8月

利払の改定で賃金を抑える末時点では高齢化などによ

る伸びを5200億円と想定していたが、診療報酬の改定で賃金を抑える方針だ。

(神山純一、松山尚尊)